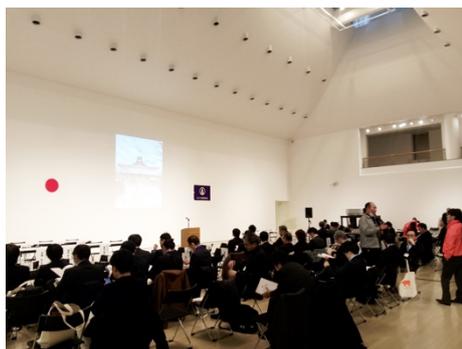


青年委員会だより

令和7年4月1日（第276号）

青森県建築士会青森支部青年委員会

第14回 青年建築士連絡協議会 東北ブロック青年大会 あきた大会



3月15日 秋田市で第14回 東北ブロック青年大会が行われました。青森県からは松野委員長と野辺地支部の櫻井さんと私の3人で参加してきました。毎年東北各県の青年委員が集まる大会で、基調講演、トークセッション、各県代表による地域実践活動の発表が行われ、当然その後は懇親会もあります。場所は秋田駅近くの千秋公園内にある秋田市文化創造館。千秋公園は文化施設が集まる場所で、文化創造館も旧秋田県立美術館が改修され、新たに総合的な文化活動に使用されています。

地域実践活動の発表では、青森県からむつ支部の齊藤さんが登壇。このためだけに秋田まで来てくれました。結果は秋田県の能代山本支部が東北代表に。内容は歩行者天国で木製軸組を建て、棟建てし餅まきまで行い、見学者が木工体験もできるものでした。今年の大会テーマは「建築で挑戦！郷土のこれから～伝統工芸と建築の融和を考える～」と題し、基調講演では秋田公立美術大学の菅原准教授が東北地方の伝統工芸の継承や周知について紹介。そのままトークセッションにも登壇し「曲げわっぱ」「樺細工」「川連塗り」の職人たちも招かれました。芸術劇場ミルハスの壁にはこの3つの伝統工芸が組み込まれ、劇場の象徴となっています。

ここまでとても有意義な時間でした。他業種とのコラボなんてなかなか機会がないですが、このような仕事はやり甲斐がありそうです。

そして会場を移動しての懇親会。秋田県の全8支部より持ち寄った日本酒がずらり並び、壮観でした。当然全種類制覇といきたかったのですが、その後を考えて自粛し5種類にとどめました。さすが米どころ秋田でした。どの日本酒もうまかった～。他県の人とも話せて楽しかったですね。秋田の夜を満喫してきました。

最後に来年の青森大会への参加をお願いしてきました。東北各地から多くの参加があると思いますので、ご協力よろしくお祈いします。

青年委員会副委員長 片山 龍之介

令和6年度 全国青年委員長会議

3月8、9日の2日間にわたり、上野の東京文化会館にて、令和6年度の全国青年委員長会議が開催されました。今回は、次期県青年委員長予定者の十和田支部甲田さんが出席予定でしたが、開催日4日前の夕方にいけないかもしれないとの連絡があり、急遽出席することになりました。

今年度のテーマは、『次世代に繋ぐ建築維新』～建築士会は唯一無二の集団～で、1日目は第一部と第二部が講演とトークセッション、第三部で他己紹介といったグループワークが行われ、2日目のワークショップに備えたテーマの設定を行い1日目の会議が終了しました。

1日目終了後行われた意見交換会では、会議で同じ席となったメンバーが同じテーブルを囲い、余興では建築大喜利が開催され、大いに盛り上がりました。2日目は、ワークショップ主体で、第四部のコミュニケーションワークショップでは、他グループの方とコミュニケーションを取り、自らのスキルの売り込みや、自分たちのグループで行うプロジェクトのために必要な人材を探すという、変わったワークショップを体験しました。その中で、体重は会議参加者の中で1、2を争うレベルで重量級なのに、開催4日前のアクシデントに対応出来たという『フットワークが軽い』というスキルがあったことを発見出来ました。その後第五部で、発表者のテーブルをその他のグループが囲むというスタイルで発表が行われ、2日間の会議が終了しました。

詳しい内容は、会報けんちくしの方で掲載予定ですので、是非そちらもご覧頂ければと思います。

青年委員会委員長 松野 幸生

青森支部 青年委員会全員協議会

3月28日 アウガ5F小会議室にて青年委員会全員協議会が開催された。松野委員長、黄金崎支部長をはじめ、12名が参加した。会議では、令和5・6年度の活動報告および令和7年度の活動計画、令和7・8年度の役員改選が行われ、新たな役員が下記の通り決定された。

【新役員体制】

青年委員長 松野 幸生
青年副委員長 片山 龍之介 / 嶋中 健二 / 黒滝 和
会計 川畑 さやか / 工藤 祐子

また今年度の活動計画は下記の通り。

7月12日 青森県建築士会青森大会
9月19日 第67回 建築士会全国大会おおさか大会
9月27、28日 「建築体験ウォッチ！」（※名称変更予定）
3月下旬 東北ブロック青年大会あおもり大会

時期調整中 「建築体験伝道活動」授業
建築士・会員育成活動
地域実践活動発表会

例年春に開催されていた「けんちくであそぼ」は今年度より実施不可となり、来年度からの新たなイベントを検討中。また7月12日の建築士会青森大会は、青森市にて青森支部主催での開催が予定されている。

この機会を通じて、より多くみなさまにご参加いただければ幸いです。

今年度もどうぞよろしくお祈いいたします。

IAMNOWHERE



武政 朋子



太田 遼

太田 遼 HARUKA Ohta

建築や風景をモチーフに展開。しばしば自身を支えているはずの床や壁が不確かなものであるという不安な感覚を抱くことから、その揺らぎのようなものを作品化している。「Dear Camus 2021」ELEPHANTSPACE / 韓国 ソウル (2021)、「誰かのシステムがめぐる時」TOKAS 本郷 / 東京 (2023)

武政 朋子 TOMOKO Takemasa

写真・紙・映像などを用いて外部との関係によって拡張するイメージと、それを認知する身体の不確かさについての作品を制作している。近年では他者の写真や語りを起点に、社会の中でのそれぞれの「私」という存在への考察を行う。「UNKNOWN」Arai Associates / 東京 (2023)、「I always wish you good luck」yeonsu / 韓国 (2022)

「IAMNOWHERE」

タイトルの文字列は区切る場所で意味が変わります。
I AM NOW HERE (私は今ここにいる)
I AM NO WHERE (私はどこにもいない)
自分を規定するものが非常に複雑な現在、存在の確かさはどこにあるのでしょうか。
また自分たちの居住地とは遠く離れた地に、果たして我々は本当にいることはできるのでしょうか。
もしかしたら何処までも自分は外部の存在としてそこにいる、もしくはそもそも何処にもいないのかもしれないかもしれません。
見慣れたような新しい建築物。自己と他者。大量の情報。確かにそこにあるはずの不確かなもの。我々が立っている場所は一体どこなのか。
この企画は、縁あって青森市内の空き物件を使用させてもらうオルタナティブな展覧会です。
今はまだ何処でもない場所で、建築や写真、風景、人々の語りなどを通してそれらを考える機会となります。

会 期：4月5日(土) - 4月27日(日)

開 催 日：金・土・日のみ

時 間：11:00 - 18:00

会 場：青森市新町2丁目6-2 1
(旧ユーススタイル)

※そば処 因 (かたが) となり

入 場 料：無 料



@IAMNOWHERE_25



web site



web site

Information 4・5月

4月11日(金) 18:30 -

◆青年委員会 定例会
(アウガ5F 小会議室)

- 13日(日)

◆コレクション展 2024-2
(青森県立美術館)

- 13日(日)

◆アートは美しくなければならない
潘逸舟
(青森県立美術館)

19日(土) -

◆描く人、安彦良和
(青森県立美術館)

24日(木) 9:00 - 16:50

◆二級建築士定期講習
(日建学院 青森校)
申込締切：4月13日(日)



5月8日(木) 9:00 - 17:00

◆一級建築士定期講習
(日建学院 青森校)
申込締切：4月20日(日)



～松隈洋ワークショップシリーズ vol.3～

建築家 前川國男の世界

「公共建築のあるべき姿を弘前から体感する」
春(生誕120年)編

5月24日(土) 14:00 - 16:00

25日(日) 10:00 - 15:00

※全2回、どちらかの参加も可能
※各回定員30名

申込開始：4月1日(火) -



詳細・申込

弘前市になぜ8つの前川國男建築が存在するのか。その関係性と作品の魅力に迫るワークショップシリーズ。

第3回「春(生誕120年)編」では、「弘前市」と「公共建築」をテーマに、前川國男が抱えた近代建築への葛藤と、建築の本来あるべき姿を深掘りする。

編集 / 黒滝 和

ACAC 改修工事に伴う休館のお知らせ

2001年に安藤忠雄氏の設計で竣工された国際芸術センター青森(ACAC)は、2024年11月で23年を迎えた。今年度、施設初の大規模改修を行うため、下記日程で休館を予定している。

施設棟 4月21日(月) - 5月21日(水)

宿泊棟 4月21日(月) - 5月23日(金)

展示棟 4月21日(月) - 2026年3月31日(火)

工事期間中も「四季のアーケード」や「野外彫刻」は引き続き散策可能。また、展示棟休館中も他施設での展覧会開催が予定しており、ワークショップやレクチャーも別棟の改修終了後に再開予定。

今回の改修により、安藤忠雄氏設計の貴重な建築が、さらに長く受け継がれることとなる。休館中もさまざまな企画が予定されており、施設が再開するまでの間もACACの活動を楽しむことができる。

青年委員会 定例会 4月11日(金) 18:30～ (アウガ5F 小会議室)

参加ご希望の方は 下記へご記入の上ご返信ください

FAX : 017-771-4320 / mail : info@aaba.gr.jp

氏名

TEL